

事務事業名	真岡市立二宮図書館管理運営事業			担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-74-0107	
施策名	1	生涯学習の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	社会教育法第22条、真岡市図書館の設置及び管理条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成21年度～）		
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4.社会教育費	3.公民館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	窓口業務、蔵書管理、レファレンスサービス、室内レイアウト 開館日数：300日、開室時間（平日：午前9時～午後8時、土・日：午前9時～午後6時）、休室日：毎週月曜日・祝日・年末年始（12月28日～1月4日）、特別整理期間：年1回（10日以内） 資料数（平成28年3月31日現在）：図書64,792冊 平成26年度より指定管理者制度を導入						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 27年度実績 利用者への資料貸出・返却業務、蔵書管理（資料購入・資料登録・廃棄・書架整理・資料修理・返却督促・統計）、レファレンスサービス・室内レイアウト 28年度計画 平成27年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
	ア	開館日数	日	292	293	300	311	311
	イ	来館者数	人	49,987	50,932	51,570	50,266	51,000
	ウ	貸出冊数	冊	41,056	43,822	47,139	55,396	56,000
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
	ア	市民の数	人	81,511	80,929	81,497	81,358	81,333
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民が気持ちよくサービスを利用できるように環境を整えることで、多くの市民に図書室の資料を利用してもらう。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
	ア	利用登録者数（当該年度）	人	195	205	163	180	200
	イ	利用登録者数（累計）	人	987	1,192	1,355	1,535	1,735
	ウ	市民一人当たりの貸出冊数	冊	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6
エ	利用登録者一人当たりの貸出冊数	冊	41.6	36.8	34.8	36.0	32.3	
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 市民の教養と文化の向上を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
	ア	学習テーマをもって学習に取り組んでいる市民の割合	%	25.6	27.0	25.2	30.1	
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,531	7,205	11,557	11,557	
	事業費計(A)	千円	9,531	7,205	11,557	11,557	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1	1
		延べ業務時間	時間	120	120	50	50
		人件費計(B)	千円	504	488	211	210
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,035	7,693	11,768	11,767	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	合併により真岡市立図書館の補完施設として、二宮地区市民の教養と文化の向上に寄与するための資料を提供する場として開室した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成21年10月、二宮コミュニティセンター内に二宮分館図書室を移設し、真岡市立図書館の図書システムを利用して、真岡市立図書館、公民館真岡西分館図書室と一体化した図書(室)業務を開始した。 平成22年7月21日から、平日の利用時間を午後6時までから午後8時までに延長した。 平成24年5月に図書の配置替えを行い、児童書スペースを広くした。 平成26年度から二宮図書館に名称を変更し指定管理者制度を導入した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	館内が明るく読書スペースが広がるなど利用しやすくなった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 社会教育法第22条の規定に基づく事業であり、市民の教養と生活文化の向上、ひいては心豊かな人間性あふれた人づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 社会教育法に規定されており、市民の教養と文化の向上を図ることは責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 利用対象者は全市民であり適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 平成26年度から指定管理者制度を導入し、サービスの向上を図っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民に必要な図書館資料を提供できなくなることにより、知識欲や生活文化の向上に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 業務に必要な最小限の業務委託料であり、平成30年度まで委託計画期間であるため削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある サービス向上のための最小の人件費であるため削減できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 社会教育法第22条の規定に基づき、図書館をひろく市民に開放しているので、公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							